

株式会社アスリード主催イベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは日本スポーツ協会の定める感染拡大予防ガイドラインをもとに作成しております。

1. ガイドラインの位置づけ

- (1) 弊社主催イベントを再開するに当たっての基準
- (2) 弊社主催イベント開催時における感染拡大予防のための留意点

2. アスリード主催イベントの再開に当たっての基本的考え方

3区域ごとに弊社主催大会の再開にあたっての基本的考え方を集約。
なお、弊社主催大会が開催される都道府県の方針に従うことを大前提とする。

(1) 特定警戒都道府県 (2) 特定警戒都道府県以外の特定都道府県 (3) 緊急事態宣言の対象区域外の都道府県

3. 弊社主催イベント開催・実施時の感染防止策

6項目ごとに弊社がイベント開催・運営に当たり留意すべき事項を集約。

- (1) 参加募集時の対応
- (2) 当日の参加受付時の留意事項
- (3) 参加者への対応
- (4) 参加前後の留意事項
- (5) 参加者が大会に参加する上での留意事項
- (6) その他の留意事項 行う際の留意点

4. 弊社主催イベント開催に伴う施設・及び宿泊施設を利用するにあたり留意すべき事項を集約。

5. 追記事項

※本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。
今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることに御留意をお願いします。

1.ガイドラインの位置付け

- (1)弊社主催イベントを再開するにあたっての基準は開催都道府県の方針に従うことを大前提とし(後述2の(3)以降の場合に開催するものとする)
- (2)後述3の6項目及び後述4を弊社主催イベント開催時における感染拡大予防のため留意点とする

2.アスリード主催イベントの再開にあたっての基本考え方

(1)特定警戒都道府県

○ 比較的少人数のものも含め、クラスターが`発生するおそれか`あるスポーツイベントについては引き続き都道府県知事からの自粛要請等に基づき適切に対応することが求められます。

○ 特に全国的かつ大規模なスポーツイベントについては、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するよう都道府県知事からの要請等に基づき慎重な対応をとることが必要です。

(2)特定警戒都道府県以外の特定都道府県

○ 全国的かつ大規模なスポーツイベントの開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するよう、都道府県知事からの要請等に基づき慎重な対応をとることが必要です。

○ 一方、比較的少人数が参加するスポーツイベントについては、地域の感染状況等も踏まえて各都道府県知事がイベントの開催制限の解除等の対応をとることが考えられます。

この場合は、適切な感染防止対策(後述「3 スポーツイベント開催・実施時の感染防止策について」参照)を講じた上で実施することが可能です。

○ ここで「比較的少人数」とは、例えば、対象となるスポーツイベントに参加する人数が「最大がでも50人程度」と想定されます。ただし、比較的少人数のイベントであったとしても、イベントを開催するためには以下のような条件を満たす必要があります。

- 1 三つの密(密閉、密集、密接)(※)の発生が原則想定されないこと(人と人との間隔はできるだけ2mを目安に)
- 2 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと
- 3 その他、必要に応じて、適切な感染防止対策(入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスクの着用、室内の換気等)が講じられること

(※)これまで集団感染が確認された場に共通する「1.換気の悪い密閉空間、2.人が密集している、3.近距離での会話や発声が行われる」という3つの条件。

また、これ以外の場であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うことにはリスクが存在すると考えられる。

激しい呼気や大きな声を伴う運動についても感染リスクがある可能性が指摘されている。

(3)緊急事態宣言の対象区域外の都道府県

○ 当面の間、全国的かつ大規模なスポーツイベントの開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するよう、都道府県知事からの要請等に基づき、慎重な対応をとることが必要です。

○ 一方、4月1日開催の専門家会議提言での、IV(2)地域区分の考え方における「感染未確認地域」の考え方に基づき屋外でのスポーツやスポーツ観戦、参加者が特定された地域スポーツイベントながどについては、各都道府県知事のイベント開催制限の方針に反しない形であれば、適切な感染防止対策(後述3 スポーツイベント開催・実施時の感染防止策について)を講じた上で、それらのリスクの判断を行い感染拡大のリスクの低い活動については注意をしながら実施することができます。

また、その場合であっても、当面の間、急激な感染拡大への備えと、「三つの密」を徹底的に回避するための対策をとることは必要になります。

3. 弊社主催イベント開催・実施時の感染防止策

弊社は、以下の内容を踏まえつつ各イベントの特性を勘案して感染防止のため弊社が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し、適切な場所(イベントの受付場所等)に掲示するとともに、各事項がきちんと遵守されているか定期的に巡回・確認することによりイベントの主催者だけでなく参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組んでいただきます。

(1) 弊社主催大会の参加募集時の対応

弊社は、参加募集に際し感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求めます。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、弊社主催イベントへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

なお弊社が参加者に求める感染拡大防止のための措置以下のものが挙げられます。

1. 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事(イベント当日に書面で確認を行います。)

ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2. マスクを持参すること

(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)

3. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

4. 他の参加者、弊社スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(誘導や介助を行う場合を除く。)

5. イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

6. 感染防止のためにイベントごとに定めるイベントオリジナル措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

7. イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は弊社に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

弊社は、イベント当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全にイベントを開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行います。

1. 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。

2. 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。

(イベント当日非接触体温計で検温を行いき37.5℃以上の参加者は強制的に参加を取りやめていただきます。)

3. 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。

4. 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行います。

5. 受付を行うスタッフには、マスクまたはフェイスシールドを着用します。

6. イベントによってはインターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること。

7. 当日の受付のほかイベント前日の受付を行い混雑を極力避けること。

(3)弊社主催イベント参加者への対応

1)体調の確認

弊社はイベント当日までに参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めることが必要です。

1. 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)

2. イベント当日の体温(非接触体温計にて参加者全員検温致します。)

3. イベント前2週間における以下の事項の有無

ア 平熱を超える発熱

イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる、疲れやすい等

カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2)マスク等の準備

弊社は、参加者がマスクを準備しているか確認することが必要です。

尚、プレー中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするものの、参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用を求めることが考えられます。

3)スポーツイベント参加前後の留意事項

スポーツイベントに参加する個人や団体は、イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮します。

(4)弊社が準備等すべき事項

1)手洗い場所

参加者がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保します。

1. 手洗い場には石鹸を用意します。

2. 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をしております。

3. 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を可能な限り用意しますが設置できない場所もあるためマイタオルの持参をお願い致します。

4. 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意致します。

2)洗面所 洗面所(トイレ)について以下に配慮して管理します。

1 トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒します。

2 トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示します。

3 手洗い場には石鹸を用意します。

4 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をします。

5 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を可能な限り用意しますが設置できない場所もあるためマイタオルの持参をお願い致します。

3)大会中のお昼のお弁当の提供時、弊社は以下に配慮して行います。

- 1 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。
- 2 お弁当を取り扱うスタッフには手袋・マスクを着用します。

4)観客の管理

弊社主催イベントにおいて大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を事前に周知いただくよう代表者にお伝えします。

5)ゴミの廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収するスタッフはマスクや手袋を着用します。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒します。

6)参加名簿の保管

弊社は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、イベント当日までに参加者より提出を求めた書面について、保存期間(少なくとも1月以上)を定めて保存しておきます。

7)弊社主催イベント終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合、速やかに開催自治体の衛生部局に報告し指示を仰ぐこととする。

(5)参加者がプレーを行う際の留意点

弊社は、イベントの参加者に対し、以下の留意点や利用者が遵守すべき内容を周知・徹底することを求めます。

1 十分な距離の確保

競技の種類に関わらず、プレーをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。(誘導者の必要な場合を除く。)

(※)感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。

2 その他

ア イベント中に唾や痰をはくことは極力行わないこと。

イ タオルの共用はしないこと。

ウ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。

エ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。

4.弊社主催イベント開催に伴う施設及び宿泊施設を利用するにあたり留意すべき事項

(1)弊社主催イベントはイベント利用施設の提言するガイドラインに基づいた上で開催しその内容をイベント全参加者に周知する。

(2)弊社主催イベントにおいて弊社手配の宿泊施設を利用して行うイベントについては宿泊施設が提言するガイドラインに基づいた上で開催しその内容を弊社または宿泊施設側から利用する全参加者に周知する。

5.追記事項

・弊社主催イベント開始後に体調不良者が確認された場合はその時点で主催者や参加者の意向に関係なく保健所または医療機関に即相談をしいイベント継続の指示を仰ぐ形となるためスケジュールを変更せざるを得ない状況になる場合がございますので予めご了承ください。